



2005年1月

明治大学校友会

福岡支部だより

● 15号 ●

明治大学校友会福岡市支部事務局 / 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2 セントラルホテルフクオカ内 TEL092-712-1212



天地皆春

右 賀 愛 人
支 部 長

支部長挨拶

新年を迎え、新しい息吹が満ちています。お互いによい年でありますようにと祈りながら表紙の年頭揮毫をしたためました。

昨年はみなさんの総力によって全国校友福岡大会をすばらしい状況のなかで実施することができ、心から厚く御礼を申し上げます。

なんとと言っても大会前日の10月9日は23号台風で東京をはじめ九州、中国を除き全国の旅客機が正午を機して完全ストップ、この状況では10日の午後から開会する全国大会には果してどれだけの校友が集って貰えるだろうか？と私をはじめ福岡支部の関係者は、四苦八苦しながらも心中ただ折るばかりでした。それがなんと大会に当っての歌い文句に“明治集合、何かが起こる”を合い言葉にしていたのが効を奏したのか？9日の夜から10日の夜明けには台風が日本列島から、徐々に太平洋の方向へと転向し、なんと朝から近畿地方をはじめ東京地方で飛行開始となり、福岡への航空路がいつせいに開始されました。このため福岡空港でてんやわんやの大騒ぎになりましたが、おかげで一時はよくいって700名内外の大会を覚悟しながら、ひそかに残念な思いに包まれていた全国大会が、なんと1,300名にのぼる全国大会に転ずることができ、その面目を果たすことができました。

然しそれもこれもすべては福岡県支部諸兄の校友会を思う心と、これを支えてくれた在学生の父母会の方々の心が巻き起してくれた大異変であったと思うのです。

さらにこの年のこの月が、明大が生んだ“昭和の楽聖古賀政男先輩”の生誕百年の年であり、水郷で名高い“柳川”の隣の町、大川市で百年祭が行われていました。これにちなんで福岡市出身の女流講師で名高い神田紅さんをお願いして、

語って貰うことにしたところ、早速「私が書いて語りましょう」と引き受けていただきました。思う通りの作品となり皆様から大喝采をいただきました。さらに“無錫旅情”で名をあげた福岡市出身の歌手尾形大作さんの熱唱と、明



大マンドリンクラブOB会の演奏など、2時間余にわたるすばらしいショーで大会を彩ってくれました。さらに続いてこれまた福岡ならではの“博多祝唄による祇園山笠”の賑やかな顔見せ興行で幕をあげた懇親会も逸見校友力作の「明大ビデオレター」青木校友会長の黒田節、ダイエーホークス応援チアガール「ハニーズ」、明大OB武雄山関の飛び入り挨拶等々の企画で楽しんでいただきました。夜の7時過ぎ、全国から参加していただいた校友の方々から「福岡へ来てほんとに楽しかった」と多くの賛詞をいただきお披露とすることができました。なお翌11日は23名にのぼる韓国校友会支部の方々の案内で福岡-釜山の日韓定期船で韓国への旅行に行かれた方達が50人程おられましたが、一方大川市の“古賀政男記念館”へバスツアーで行かれた人達も80人程おられましたことを合わせて報告させていただきます。

みなさん、ほんとうにありがとうございました。



第40回 明治大学全国校友 福岡大会

平成16年(2004年)

10月10日(日)

シーホークホテル&リゾート

明治集合!
区長が
副JNQ=



写真:福岡ドーム・シーホークホテル&リゾート



朝8時に集合して資料の用意



支部長懇談会の開会



長吉理事長挨拶



青木全国校友会会長の挨拶



古賀実行委員長挨拶



KBC二木氏の司会で
懇親会が始まる



村山元首相挨拶



古賀実行委員長より青木会長に記念品の「木うそ」贈呈



西崎絳扇師匠「黒田節」



村山元首相を囲んで



西崎絳扇社中「鹿児島はんや節」



博多独楽保存会 筑紫珠楽師匠

第04回
即席大学全国対交式



受付は準備万端



お客様であただしくなってきました



にぎやかな受付風景



受付に華を添える美女3人



いよいよ式典の開始です



麻生 渡 県知事の来賓挨拶



FBS古賀氏、神田紅師匠、尾形大作さんを紹介



「古賀政男物語」のはじまりはじまり



威勢のいい博多祇園山笠「中洲流」の歓迎



景気よく鏡割り



青木校友会会長によるめずらしい「すわり黒田節」



マンドリンクラブOBによる演奏



ダイエー戦のあい間にかけてくれたハニーズの若さあふれる踊り



会場いっぱいの人、人、人



参加者全員肩を組んで感動の校歌斉唱



上杉応援団OBの渾身の音頭

『全国大会実行委員を経験して』

S61年・農学部卒 津島 潔

10月10日シーホークホテル&リゾートで行われました全国校友福岡大会で受付の担当責任者させて頂きました。

前日からの台風の影響で、当日キャンセルが多発するのではないかと気が気ではなかったのですが、予想を上回る当日登録（約100名）もあり、又来賓の方々も予定を繰り上げ前日から来ていただいた方が多くほとんど欠席がありませんでした。

受付に関しては、当日の朝の打ち合わせだけで、それこそ“ぶっつけ本番”でしたが、さすが万事に裁けた“明大OB”、各ブースの責任者が見事な綱さばきで1,200名を越える入場者を滞る事なく会場へお迎えする事が出来ました。

この受付業務にあたり事前準備を事務局と何度も綿密におこなった事が大変良い結果となったと思います。

又、当日は応援団OB会として全国各地から10名ほど参加して戴き、校歌1番を福岡市地域支部の上杉鷹雄（昭33年商卒）先輩に、そして全国校友大



会としては初めて“明大節”を私、田川地域支部の津島 潔（昭61年農卒）が披露する事ができ、皆さん青春時代にタイムスリップして大いに楽しんで戴けたと思います。

今後又いつか福岡県支部が全国校友大会を受け持つか解りませんが、私が存命中にあれば今回の経験をいかして頑張りたいと思います。

『全国大会実行委員を経験して』

H6年・商学部卒 逸見明正

シーホークホテル&リゾートは“満員御礼”実行委員の一人として、また懇親会の司会者として、嬉しい悲鳴を上げた。

中洲流有志の方に『迫力の山笠』を表現して頂き、全国からの参加者1,200人以上も度肝を抜かれたはず。その後、ハニーズの皆さんによる『華麗なダンス』に、村山元首相をはじめご来賓がクギ付けだったのが印象的だった。そして、もう一つ・・・

実は私には、もう一つの任務があった。“懇親会の企画担当”である。10月10日の当日まで、どんな構成にするか、正直悩んだ。「他の県にマネできない事をやろう！」

10月初め、梅野親行君と、2泊3日で東京へ。著名な校友にコメントを頂き、各校舎と学生街を撮影するためだ。生田ロケ、後楽園で取材、府中へ移動。その後、駿河台ロケ、締めは雨の和泉ロケ、といった具合。残念ながら、遊ぶ暇はなかったが・・・



何とか一週間で編集作業を終え、20分の『明大ビデオレター』が完成した！会場の皆さんも、懐かしさと物珍しさで見下さったようで、本当に作った甲斐があった。それにしても、北野武、星野仙一、山下達郎各氏のコメントは頂きたかったなあ。

今回の校友クローズアップには50年工学部卒の善敏治さんに登場願った。

善さんといえば、この度の全国校友福岡大会で、計画の立案や作成など事務局として大いに力を発揮され、みごと大成功に導かれた一人であるが、今回取り上げた理由は別にある。

善さんは、県建築士会CPD等特別委員長をして、9月21日の朝日新聞に大きく取り上げられた。社会的にも価値のあることに取り組んでおられるので、今回校友の皆様を紹介したく取り上げさせてもらった。

CPD（継続能力開発）という言葉は聞きなれない言葉ではあるが、詳しくは新聞記事を読んでいただく。

建築士の腕と信用を守る

INTERVIEW



最近では製図台を使わずパソコンで設計をする機会が増えた。福岡市中央区今泉1丁目

「消費者の生命と財産に大きな責任」胸に

筑後

久留米支局 TEL:0942-54-1133 FAX:0942-58-6081 久留米支局107 3丁目1680204

大牟田支局 TEL:0944-53-2001 FAX:0944-51-5884 大牟田支局大牟田1 1丁目6の211 朝日 0944-72-3837 三浦橋支局222014

福岡支局9070136 http://myhome.nishitokai.com/ 福岡支局福岡1 1丁目1-101 092-33-0810 広書への支局 0942-33-9891 (朝日支局) オリコ支局は 久留米 42-1350 大牟田 51-6175

九州版



福岡市中央区今泉1丁目1680204 朝日新聞九州版 2004年9月21日 火曜日 13版

九州版



福岡市中央区今泉1丁目1680204 朝日新聞九州版 2004年9月21日 火曜日 13版

九州版



福岡市中央区今泉1丁目1680204 朝日新聞九州版 2004年9月21日 火曜日 13版

九州版



福岡市中央区今泉1丁目1680204 朝日新聞九州版 2004年9月21日 火曜日 13版

ひと

県建築士会CPD等特別委員長 善敏治さん(54)

1、2級建築士、木造建築士の専門士、建築士会連合会が11月1日から始めたCPD(継続能力開発)制度を推進する特別委員会の委員長として、県

内、約2800人いる会員たちの技術水準の向上を目指し、奔走している。

県建築士会CPD等特別委員長 善敏治さん(54)は、建築士会連合会が11月1日から始めたCPD(継続能力開発)制度を推進する特別委員会の委員長として、県内、約2800人いる会員たちの技術水準の向上を目指し、奔走している。

建築士は一度、国家試験に合格すると、更新手続きなどはなく、一生資格は無くなる。ほとんどの建築士は仕事に忙しめに取組んでいて、その一方で、欠陥住宅や過剰建築が後を絶たず、社会問題にまで発展するケースも出てきた。

県内では、篠栗町のマンションに欠陥があるとして福岡市の住宅販売会社が、同社に11階建てマンションの建て替えを求め、約10億3000万円の賠償を請求する訴訟を福岡地裁に起こした。住友は国産、平均数千坪の戸建て、翌年には全戸でひび割れ、床のたわみなどが発生している。

建築士は一度、国家試験に合格すると、更新手続きなどはなく、一生資格は無くなる。ほとんどの建築士は仕事に忙しめに取組んでいて、その一方で、欠陥住宅や過剰建築が後を絶たず、社会問題にまで発展するケースも出てきた。

能力アップへ新制度推進

これまで、県の指定講習を5年に1回受けなければならないが、受講証明が交付された。この講習が5年に1回受けなければならない。新たな方向の手立てとして、県建築士会は昨年10月から開始度への取り組みを始めた。

これまでは、県の指定講習を5年に1回受けなければならないが、受講証明が交付された。この講習が5年に1回受けなければならない。新たな方向の手立てとして、県建築士会は昨年10月から開始度への取り組みを始めた。

これまでは、県の指定講習を5年に1回受けなければならないが、受講証明が交付された。この講習が5年に1回受けなければならない。新たな方向の手立てとして、県建築士会は昨年10月から開始度への取り組みを始めた。

これまでは、県の指定講習を5年に1回受けなければならないが、受講証明が交付された。この講習が5年に1回受けなければならない。新たな方向の手立てとして、県建築士会は昨年10月から開始度への取り組みを始めた。

CPD制度は、建築士が5年に1回受けなければならないが、受講証明が交付された。この講習が5年に1回受けなければならない。新たな方向の手立てとして、県建築士会は昨年10月から開始度への取り組みを始めた。

CPD制度は、建築士が5年に1回受けなければならないが、受講証明が交付された。この講習が5年に1回受けなければならない。新たな方向の手立てとして、県建築士会は昨年10月から開始度への取り組みを始めた。

CPD制度は、建築士が5年に1回受けなければならないが、受講証明が交付された。この講習が5年に1回受けなければならない。新たな方向の手立てとして、県建築士会は昨年10月から開始度への取り組みを始めた。

CPD制度は、建築士が5年に1回受けなければならないが、受講証明が交付された。この講習が5年に1回受けなければならない。新たな方向の手立てとして、県建築士会は昨年10月から開始度への取り組みを始めた。

学生時代は美術部に入り油絵を描いたり、ジャズを聴いたり(現在もそうらしい)するなど、穏やかなライフスタイルですこしておられるが、静かな話

しぶりや人柄のにじみ出る笑顔の中にも、自分達の職務に対する責任の重さと厳しさを凛と持っておられると感じた記事であった。

第40回駿台ゴルフ会

第40回の駿台ゴルフ会が、10月25日八幡支部のお世話のもと、遠賀町の「チサンカントリー遠賀」で6組23名で開催されました。木原文吾駿台ゴルフ会会長挨拶の後、早速スタートし、難しいコースにてこずりながらも、全国大会の大成功の余韻でとても和気藹々の楽しいゴルフ会となりました。心配された天気も、最後までもち、表彰式が終わる頃振り始め、帰路につく頃は大雨となりました。優勝は久しぶりに参加された門司支部の久保九州男福岡県議会議員でした。福岡市支部は全国大会の疲れな



東京六大学OB会ゴルフ会開催

第8回東京六大学OB会ゴルフ会が、東京大学幹事のもと、11月13日（土）に雷山CCで開催された。当日は天候に恵まれ、絶好のゴルフ日和でもあり、総勢22組80名の出席で楽しいゴルフ会となった。

明治大学は今年優勝が無いので今年こそはと、メンバーを募ったが昨年より6名少ない13名であり、また元気な森重隆氏が欠席した為か、どこことなくおとなしく今年も3位に甘んじてしまった。優勝校は、昨年の4位の屈辱を晴らすべく予選会を開催して厳選メンバーで望んだ法政大学であった。また、準優勝校は、若手を多く揃えた幹事校東京大学であった。表彰式は、会場をホテルオークラに移し懇親会を

のか、5名しか参加されず、少々さびしい大会でありました。次回は5月頃福岡市支部の世話で開催致しますので、多くの校友のご参加をお願い致します。

兼ね、杯を重ねる毎に賑やかとなり、すでに来年の第9回大会に向けての壮絶な舌戦が始まった。

最後は優勝校法政大学の校歌を皆で歌い、東京大学応援団長がエールを行い、来年度幹事校立教大学の挨拶でお開きとした。

今回の賞品は団体戦に重きを置き、また賞金としたので、優勝の法政大学は豪華な2次会になったようだ。

来年こそ優勝し「白雲なびく」と明治大学校歌を歌いたいの、多くの校友の参加をお願いしたい。(第9回の大会詳細は「福岡支部だより」2005年夏季号でお知らせします。)

明福ゴルフ

12月3日、快晴の中第26回 明福ゴルフ大会が大博多ゴルフ倶楽部で執り行われました。今回は古賀支部長にご参加して頂き、格調高い大会になりました。大会の結果ですが、激戦を制して優勝されたのは鈴木弘幸（56年政経卒）さんでした。日頃の鍛錬が実ったものと思われます。また、2年連続して敢闘賞を獲得した校友もいた様です。プレー終了後一度解散し、セントラルホテルに会場を移し、表彰式兼忘年会を行いました。ゴルフに参加されなかった校友も含め、ゴルフ以上に皆さん燃えに燃えあがりました。現役学生の時によくやった一気飲みはどこか懐かしくもあり、ハイテンションにもしてくれました。最後に小石原会長の音頭のもと、我が校歌を声高らかに歌いあげました。今回参加できなかつ

た校友の皆さん、来年はお待ちしております。楽しかったですよ。



米倉ボクシングジム会長 米倉健司さんの近況を紹介したい。

米倉健司さんは福岡県出身。昭和9年直方市生まれで、福岡高校を卒業後明治大学に進学、昭和32年経営学部を卒業されている。在学中にメルボルンオリンピックに日本代表として出場。プロボクサーに転向後も東洋バンタム級チャンピオンを5度防衛など輝かしい戦績を持っておられる。しかし米倉先輩は選手としての実績もすごいが、指導者としての実績もすごく、柴田国明、ガッツ石松、中島成雄、大橋秀行、川島敦志など5名の世界チャンピオン、7名の東洋チャンピオン、30名の日本チャンピオンとそうそうたる人物を育てるなど、輝かしい経歴を持っておられる。

この度、ボクシング部創部80周年と拳法部創部50周年の式典に、元気な姿を見せられた。ともに新築になったアカデミーコモンで行われたが、ボクシング部の式典は11月14日行われ、応援団OB有志

として上杉先輩が出席、長吉理事長や日本アマチュアボクシングの吉森理事、児玉圭司駿台体育会会長などが挨拶をされ、約400人のOB関係者が集まり昔話に花が咲いた。

拳法部の式典は10月16日行われ（拳法部OBの本田出席）米倉先輩は講演者として、日本テレビアナウンサーの松永二三男氏（昭和49年政経卒）の司会で「チャンピオンの育て方」という興味深いテーマで話をされ、約350人のOBや米賀の方々の熱心な視線を集めておられた。

昭52年 法学部卒 本田博志



活躍する校友大募集！

「校友トピックス」は、福岡出身の活躍する校友を紹介しています。国内・国外に関わらず皆様のまわりでご活躍されている校友がいましたら、お気軽に事務局までご連絡下さい。取材にお伺いさせていただきます。

もちろん、自薦・他薦は問いません。

武雄山関を囲む会

平成16年11月11日西中洲の「葱や」に於いて平成9年政経学部卒・愛知県出身「武雄山関」を囲む会が開催され、関取と同年代の校友を中心に20名が出席した。平成7年卒で現在春日野部屋のマネージャーをしている谷村竜太君も駆け付けてくれた。(春日野部屋は60年卒橋の和歌関が親方です。)

九州場所西前頭8枚目の武雄山関には、「今場所は上位陣を苦しめ土俵を大いに盛り上げてくれ!」との声が皆より掛けられた。

武雄山関の角界話・校友の近況報告で大いに盛り上がりを見せ、予定の時間を大幅に延長することとなった。

最後は、武雄山関の九州場所での好成績を祈願し本田先輩の音頭により校歌を斉唱し、お開きとなった。武雄山関より、参加者全員に今場所の番付表と武雄山関の手形が入った色紙を頂き、参加者全員とても喜んでいた。

閉会後は、武雄山関と共に中洲に繰り出した。

二次会では、武雄山関をはじめとして、明大校友によるカラオケ大会となり、大いに盛り上がった。

昭60年 法学部卒 緒方 弘臣



春日野部屋激励会

大相撲九州場所にてぎわう11月22日、春日野部屋の親方や力士を力付けしようと激励会が東区の「杉庵」で開かれた。春日野部屋の親方はご存知のように明大出身の元橋の和歌関、またマネージャーに平成7年卒の谷村氏、力士に橋の花など明大出身者が多く、応援をしようと激励会が催され、16名の出席者が集まった。

まず小石原先輩が挨拶をされ、続いて光安先輩の乾杯で和やかに会は始まった。残念ながら橋の花など現役の力士たちは、場所途中ということで出席はできなかったが、春日野親方は

「モンゴルなにするものぞ」といった現役時代の相撲を思わせる強気な発言も飛び出し、大いにぎわった。

最後に代表世話人の上杉先輩が春日野部屋の後援会を作ろうと呼びかけられ、会長に小石原先輩、幹事長に赤壁さんが決まった。

また、春日野部屋のゴルフ会が11月9日に和自ゴルフコースで行われ、明大から2組参加したことを付け加えておきます。

昭41年 法学部卒 野口順四郎





平成17年 明治大学校友会福岡市支部新年交礼会のご案内

恒例の新年交礼会を下記の通り開催致します。
皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

日 時

平成17年1月26日(水)18時30分

場 所

セントラルホテルフクオカ

福岡市中央区渡辺通4-1-2

TEL092-712-1212

FAX092-761-8980

会 場

3Fダイヤモンドホール

当日会費

5,000円

(但し、女性全員及び平成9年卒以降の校友は4,000円)



準備の都合上、同封されている返信はがきにて
1月20日までに出席をお知らせ下さい。



問い合わせ先 事務局 矢谷 学(昭50法)
TEL 092-631-3336(三栄印刷)

編集後記

みなさま明けましておめでとうございます。昨年も支部だよりにご協力いただきまして、ありがとうございました。ここに15号をお届けいたします。今回は昨年行われました「全国校友福岡大会」の特集号として内容を組んで見ました。全国大会は皆様のご協力により、大成功のうちに終了しましたが、この紙面を通じて今一度あのときの興奮を感じ取って

いただけたら幸いです。来る2005年が皆様にとってよい年でありますようにお祈り申し上げます。

昭33年 商学部卒 上杉鷹雄

編集委員長	上杉 鷹雄 (昭33 商)
委 員	神永 正夫 (昭37 法)
"	野口順四郎 (昭41 法)
"	二木 清彦 (昭52 政経)
"	本田 博志 (昭52 法)
"	齊藤 博文 (平元 文)
事務局	矢谷 学 (昭50 法)